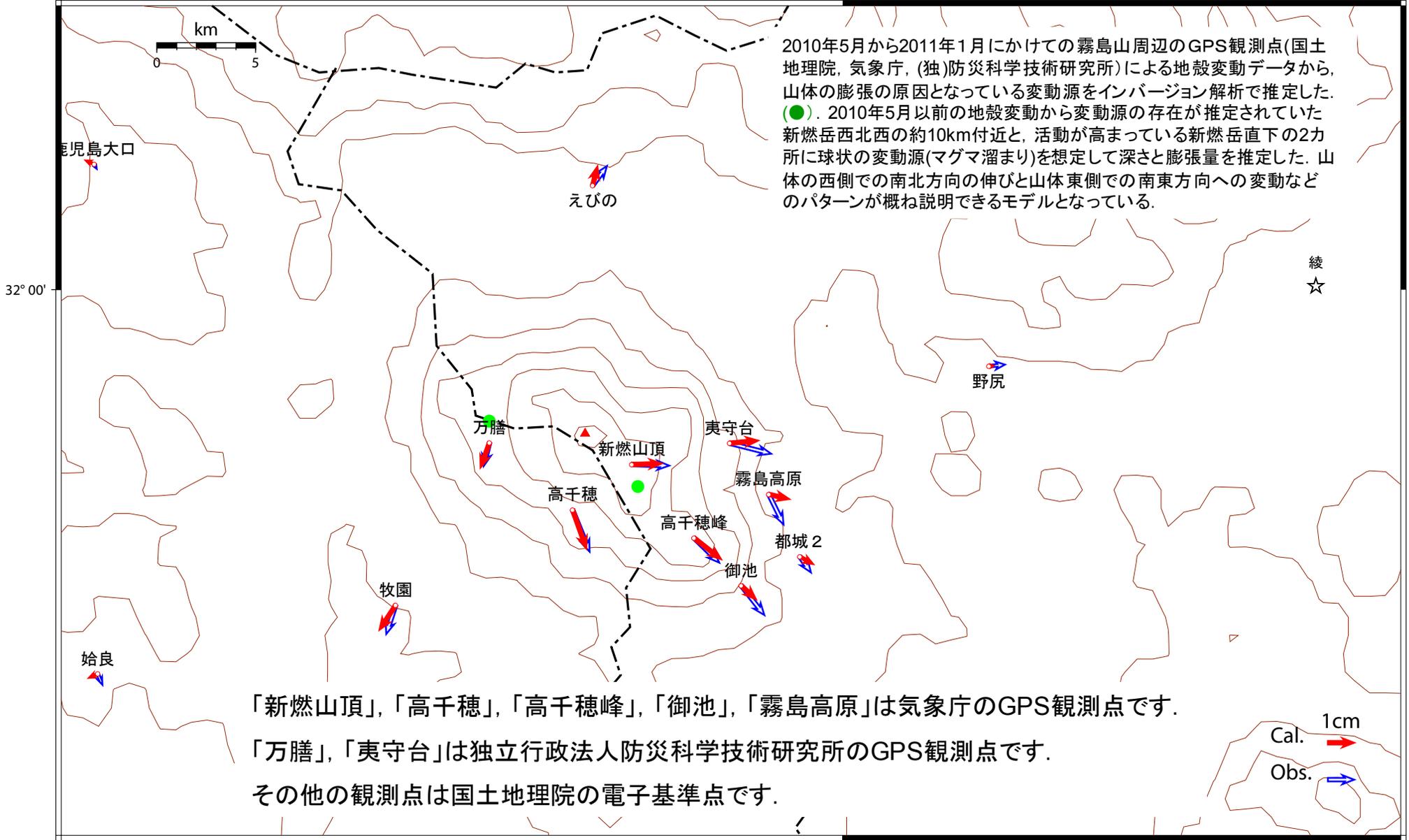
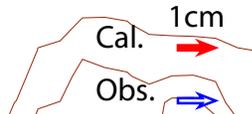


基準期間： 2010/05/01 - 2010/05/15
比較期間： 2010/12/26 - 2011/01/08

2010年5月から2011年1月にかけての霧島山周辺のGPS観測点(国土地理院, 気象庁, (独)防災科学技術研究所)による地殻変動データから, 山体の膨張の原因となっている変動源をインバージョン解析で推定した. (●). 2010年5月以前の地殻変動から変動源の存在が推定されていた新燃岳西北西の約10km付近と, 活動が高まっている新燃岳直下の2カ所に球状の変動源(マグマ溜まり)を想定して深さと膨張量を推定した. 山体の西側での南北方向の伸びと山体東側での南東方向への変動などのパターンが概ね説明できるモデルとなっている.



「新燃山頂」, 「高千穂」, 「高千穂峰」, 「御池」, 「霧島高原」は気象庁のGPS観測点です.
「万膳」, 「夷守台」は独立行政法人防災科学技術研究所のGPS観測点です.
その他の観測点は国土地理院の電子基準点です.



131° 00'

☆固定局：綾 (021086)

Lat=31.94 Lon=130.81 D=5.5km Inflation=6.4million cubic meter
Lat=31.91 Lon=130.89 D=3.4km Inflation=0.8million cubic meter